

### 占領下のスポーツ政策について

○近藤克之 [日本大学] 加藤秀治 [日本大学大学院] 澤村博 [日本大学]

キーワード：民主化政策 武道 スポーツ レクリエーション

1945年10月11日、GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）は、五大改革令を発令した。その内容は、1 女性の解放、2 労働者の団結権の保障、3 教育の民主化（教育基本法などの教育三法が制定）、4 秘密警察の廃止、5 経済の民主化（農地改革など）の政策が実施実行された。

戦前の日本において、大日本武徳会は、武道の振興、教育、顕彰を目的として1895年に設立され、以来一貫して定着していた。戦後、武徳会は、民間団体に組織を改編し人員刷新され、最終的には1946年10月31日に解散した。なかでも、教育の民主化では、戦時下に於いて、軍に加担した武道等の種目は排除されたが、多くの欧米より紹介されたスポーツ種目（野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、フォークダンス、スクエアダンスなど）はGHQより歓迎され広く実施することとなった。反面、武徳会で推進啓蒙した武道種目については冷遇された。

本研究では、武徳会で掌握されていた種目（剣道、柔道、弓道、銃剣道、居合術、杖術、薙刀術、槍術、鎖鎌術、捕縄術、鉄扇術、遊泳術、空手術など）が何時どのような経緯で、再建されていったかを検証することとした。

### 日本厚生大会の分析的研究

○加藤秀治 [日本大学大学院] 近藤克之 [日本大学] 澤村博 [日本大学]

キーワード：厚生運動、壮丁体位、体力、武道

1938年7月15日日中戦争激化に伴い、予定されていた東京オリンピック中止の声明、東京オリンピックと同時開催予定であった第4回世界厚生大会開催も中止に至った。

1938年11月2日から3日日本厚生協会は東京明治神宮外苑の日本青年館で第一回日本厚生大会の開催、さらに1939年11月10日から13日名古屋市公会堂を中心に第二回日本厚生大会を開催した。

この二度の国内大会の反省点として「体力」の特化が問題視された。要するに、芸術、文化活動が軽視されたことである。

1940年10月16日から20日「紀元2600年奉祝」行事の一環として、大阪厚生協会の主催のもと興亜厚生大会が開催された。

「興亜」という話を聞いて国際色を強めるに至った背景には何があるのであろうか。それはこの年に開催されるはずであった第4回世界厚生会議に代わるものとして考えられる。1941年の厚生大会は日中、日米の戦争の激化に伴い開催を見合せた。

1942年8月18日から20日奉天市の満州国医科大学を主会場として建国10周年慶祝行事として「東亜厚生大会」が開催された。「大東亜競技会」等と同様に「東亜厚生大会」もその一環であった。